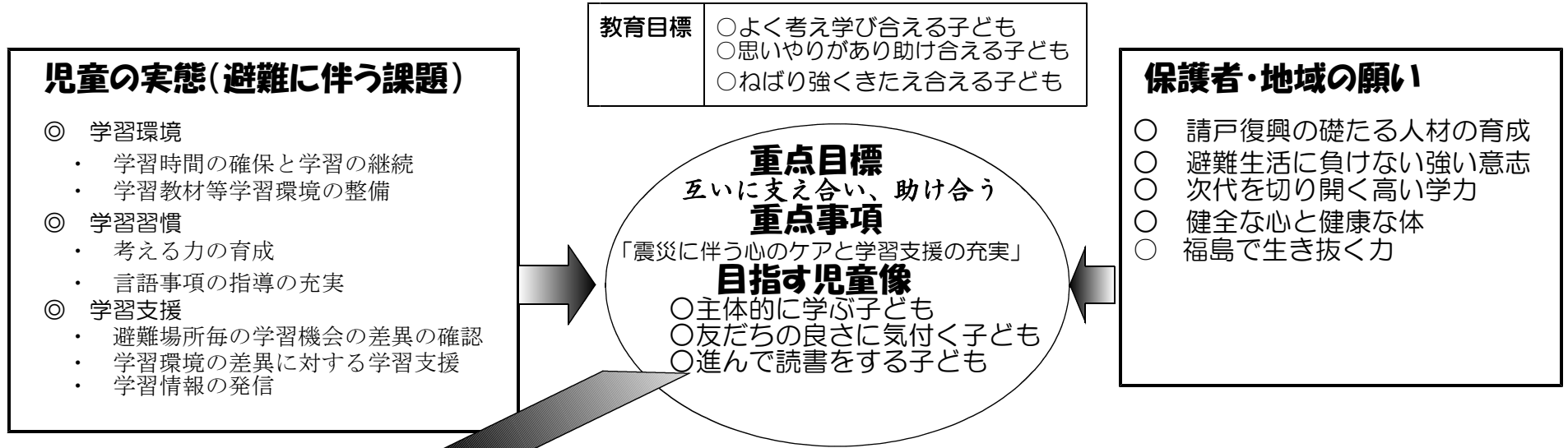


平成24年度 請戸小学校学力向上グランドデザイン



※ 学校再開までの取り組みとして

- P: 環境に負けずに自己の目標を持ち、学習に主体的に取り組む**
- 全国に通用する学力の育成
 - ・ 自分の未来を信じて
 - ・ 自分の可能性を信じて
 - ・ 復興をバネとして
 - D: ホームページの開設と学校便りを合わせた学習支援への活用**
 - 心通う応援態勢の確立
 - ・ 心の支援の充実
 - ・ 学習意欲への支援
 - ・ 家庭学習への支援
 - ・ 教育情報の公開
 - ・ 交流の機会と場の提供
 - C: 校長、教頭の避難校への訪問活動や交流の場の活用**
 - 定期的な学習環境の見直し指針の提示
 - ・ 通信を活用した情報の収集と、学習意欲の喚起
 - A: 学習情報の送信、送付**
 - 児童の知的好奇心を満たす情報の送信

※ 学校再開後の取り組みとして

- | | | |
|--|---|---|
| <p>①主体的に学ぼうとする子ども</p> <p>P: ①学力テスト全国通過率100%以上
②アンダーアチーバー0</p> <p>D: ①学力テストの分析と個の実態を把握する。
②復興・放射線教育を位置づけ、言語活動との関連を図った授業の展開を図る。</p> <p>C: ①漢字や計算にかかわる進級テストの実施。
②単元テスト、学力テスト、ノートの点検。
③学期ごとの具現化構想によるチェック。</p> <p>A: ①下位児童への個別指導を行う。
②学期ごとの反省を次学期に生かす。</p> | <p>②友だちの良さに気付き認め合える子ども</p> <p>P: ①1時間に1回以上の挙手と発表。
②友だちの良い面を見つけるための支援</p> <p>D: ①朝スピーチ、帰りの会での良いことの発表を通してお互いを知る場を設定する。
②異学年の交流を図る。
③児童の作品掲示を積極的に行う</p> <p>C: ①朝の会、帰りの会の活用。
②月ごとの目標の反省。
③日記等の継続と活用。</p> <p>A: ①発表会、授業参観、学年通信等の活用。</p> | <p>③進んで読書をする子ども</p> <p>P: ①一人12冊の朝読書を目指す。
②一教材30回の音読。</p> <p>D: ①朝の読書タイムの実施と読書活動の啓蒙を図る。
②全校読み聞かせを実施する。
③家庭での音読を大事にする。</p> <p>C: ①図書カードの活用。
②音読カードの活用。
③頑張った児童を賞賛する場を設定する。</p> <p>A: ①学校図書、図書館利用についての指導。
②学級文庫、学校図書の整備
③読書意欲を高めるための工夫</p> |
|--|---|---|

